

編集・企画

八幡平ふるさと会・広報委員会

〒103-0015

中央区日本橋箱崎町36-3-806

TEL 03-5640-1422

FAX 03-5640-1433

第10回

◆みんなの癒しの場◆
八幡平ふるさと会の集い

平成28年度、第10回「八幡平ふるさと会の集い」は、5月29日(日)、日暮里駅南口の「ホテルラングウッド」にて開催いたします。

田村正彦八幡平市長はじめ、来賓の方々が出席予定です。今年のアトラクションは八幡平市平館出身のプロ歌手で当会の幹事でもある小林辰也さんと「新宿ブルース」でお馴染みの扇ひろ子さんとの歌謡ステージを予定しております。どうぞお楽しみください。

また、恒例の福引抽選会や合唱、ふるさとの物産販売もあります。参加して下さる皆さんのために楽しんでもらうと幹事一同考えております。若かりし頃、まち中ですれ違った人々に、今日は東京の会場で会えるかもしれません。多数の方の参加をお待ちしております。(文責・白川)

八幡平ふるさと会10周年記念に向けて

八幡平ふるさと会会長 田村 啓造



会員の皆様、1年間のご無沙汰でしたが、お元気で過ごされたこととご推察致します。今日まで皆様方のご厚情、ご援助、ご協力と役員各位のボランティア精神のお陰で「八幡平ふるさと会」も、今年10回目を迎えることができました。この10周年の記念行事の進め方について、役員会にていろいろと検討しました

★八幡平ふるさと会総会★

「第10回八幡平ふるさと会の集い」

◆日時:平成28年 5月29日(日)

午前11:00~(受付:午前10:30~)

◆場所:ホテルラングウッド 2階「飛翔の間」

東京都荒川区東日暮里5-50-5

電話 03-3803-1234

◆会費:9,000円

(小学生までの同伴者は12,000円)

が、残念ながら大々的なアトラクションは無理との結論に達しました。しかしながら幹事である元歌手(西根地区平館出身)の小林辰也さんと交渉していただいた結果、友情出演ということで、紅白歌合戦2回出場「扇ひろ子」さんを迎えることが決まり、皆さんと共に、記念日を盛り上げたいと計画しています。昨年は八幡平市の市制10周年でした。記念行事の一つとして10月、「八幡平ふるさと会」バスツアーが、実施されました。50余名が参加し、見学、紅葉、まつり等、ふるさとの秋を満喫して参りました。市のご厚

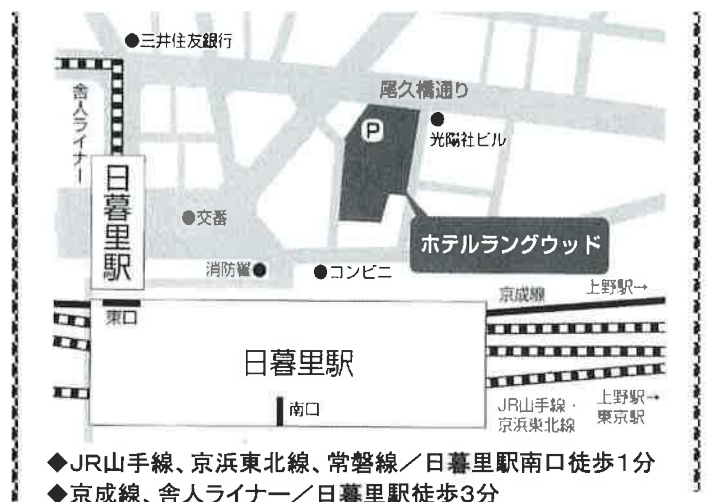
情に心よりお礼申し上げます。

また11月3日には、合併10周年の記念式典が施行され、皆様より毎年ご好意を頂いている「募金」及び新庁舎への「テレビ」贈呈により、ふるさと会が「善行表彰」を頂いて参りました。今年もご協力の程よろしくお願い致します。

最後に、46年ぶりの岩手国体が八幡平市内でも開催されています。応援や観光等でも帰省され、少しでも故郷へ協力(貢献)しようではありませんか!

一人は皆の為に

皆は一人の為に!



◆JR山手線、京浜東北線、常磐線/日暮里駅南口徒歩1分

◆京成線、舎人ライナー/日暮里駅徒歩3分

ふるさと会の集いに参加を！

総会実行委員長

伊藤 勝美

八幡平ふるさと会会員の皆様、こんにちは。今年も「ふるさと会の集い」の時期がやってきました。昨年、地元八幡平市では市制十周年を迎え、節目の年として盛大に記念式典が執り行われましたが、「ふるさと会の集い」もお陰様で10回目を迎えるようにしております。これもひとえに会員の皆様の暖かいご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

毎回、「ふるさと会の集い」には、地元より市長をはじめ来賓の方々、そして会員の皆様と、総勢200名を超える参加者で賑わっておりますが、今回は節目の年の位置づけと致しまして、更に

参加人数を増やし盛大に執り行いたいと役員一同張切っております。この記念すべき総会を前に、皆様に存分に楽しんで頂けるよう、着々と準備を進めているところでございますが、特に、アトラクションでは往年の大スター、歌手の扇ひろ子さんをお招きすることになっております。それと地元出身の歌手で、当会幹事の肩書を持つ小林辰也さんのコラボショーは必見でございます。

その他にも、毎回好評頂いています地元物産の販売、地元協賛品の抽選会等々、お楽しみ企画を沢山用意しております。皆様のお越しをお待ちしております。

「扇ひろ子・小林竜也ショー」を企画！
本物の歌声をお楽しみ下さい。

扇ひろ子 友情出演決定

扇 ひろ子

デビュー曲 「赤い椿の三度笠」(コロンビアレコード)
昭和40年 「哀愁海峡」大ヒット
昭和42年 「新宿ブルース」ミリオンセラー
昭和43年 「みれん海峡」大ヒット
NHK 紅白歌合戦(昭和43・44年連続出場)
平成26年 第56回日本レコード大賞・功労賞
現在、全国各地で公演を続けている。
「深川美人」好評発売中。



小林 竜也

西根町出身

昭和47年 テイチクレコード専属 「夕焼け馬子唄」でデビュー
昭和48年 旧西根町音頭レコーディング
昭和50年～ 日本マーキュリーレコードプロデューサー
アポロン音楽工業レコードプロデューサー
昭和55年 東芝EMIプロデューサー
村田英雄、及川三千代、真山一郎、
志賀勝のレコードプロデューサー歴任
昭和49年 読売新聞 功労賞
昭和49年 旧西根町名誉市民賞
現在、日本作曲家協会・会員



第9回 八幡平ふるさと会の集い
 2015年5月31日 於：ホテルラングウッド

「第9回八幡平ふるさと会の集い」の風景



福引抽選会



物産販売コーナー



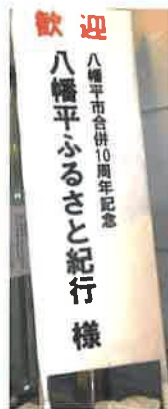
写真以外にも多数！福引抽選会に協賛及び販売に協力いただいた各社の品々です。



舞台の上でみんなで合唱



八幡平ふるさと紀行



—昨年アンケートをもとに、10月9日から11日までの3日間、八幡平市合併10周年を記念した、市主催、ふるさと会の共催で「八幡平ふるさと紀行バスツアー」が実施されました。

ふるさと紀行 私の目的は！

齋藤 洋子

昨年の総会時に田村市長から八幡平市合併10周年記念としてふるさと紀行バスツアーのお話があった。

それから4ヶ月余りの10月9日、2泊3日の行程で参加者52人、バス2台に分乗して東京駅から出発。バス代は八幡平市が負担。バスの中には同級生だというグループがいて、故郷にいる人達と同級会を計画しているとおしゃべりが弾んでいた。他にも観光以外の目的で参加している人が何人もいて、私もそのうちの一人だった。

昼食は福島県のドライブインで1回目の食事、「華せいり料理」は今回の旅行の食事の贅沢さを予感させるものだった。途中休憩をとり、暮れ行く景色を見ながらバスは一路「ホテル安比グランド」を目指した。

スキー場が開業し、毎年両親弟妹でこのスキー場に行くのが楽しみだった。スキーが不得意だった私は荷物番が多かったが活気のある雰囲気を楽しんでいた。混んでいて駐車場を探すのが大変だったのも今は懐かしい思い出である。

バスがホテル本館に到着してほどなく歓迎レセプションが開催された。田村市長はじめ市役所や市議会議員の方々の歓迎のお言葉をいただき、この旅行が実現された喜びが嬉しかった。地元産の山葡萄ワインで乾杯し、地元産の食材を味わうパーティが始まった。其々のテーブルに同じ出身地の議員さんや役所の方が同席されたので、慣れ親しんだ地名や人物名が話題になり盛り上がった。

2日目は終日フリータイムだったが、私はオプションツアーに申し込みをした。早めに起床しホテル周辺の白樺を見ながら散歩。

気温5度はかなり寒かったが清々しくて気持ちいい。朝食後はアスピーテラインを通って今回の目玉、八幡平の紅葉を車窓から眺めながら頂上まで。真っ赤、真っ黄そして緑の原色を散りばめた景色にあちこちからため息が聞こえてきた。頂上は寒く霧も濃くて、雄大な景観はお預けとなってしまう。私は健脚を頼りに一人で見返り峠まで足を延ばし、霧の切れ間から岩手山を見つけて満足した。下山の途中、バスはかつて松尾鉱山の宿舎だったアパルト群の近くまで行った。今なお毅然と立ち並ぶ建物では、当時とても近代的な生活が営まれていたらしい。隣に座った女性がそこに住んでいた当時のことを誇らしげに話してくれた。近くにいたのに知らない世界があったらしい。

麓では恒例の「山賊まつり」が始まり様々なイベントで賑わっていた。市内外の出店がずらりと並び、ど

れもつまんでみたいものばかり。でも間もなく新安比温泉での昼食が予定されていたので、おちよこ一杯とイカ焼きだけで我慢した。やっぱりその我慢が正解だった。ディナーのような昼食が用意されていた。私は昼食を急いで済ませて、その日のツアーを抜け介護施設でお世話になっていた父に会いに行った。この時が元氣な父と会い、おしゃべりした最後になってしまった・・・。

3日目の朝、役所やホテルの方々に見送られながらバスは出発。岩手日報に「山賊まつり」を楽しんでいる八幡平ふるさと会の一行が載った記事を回し読みしているとほどなく平泉に着。時折小雨がパラついてきたが金色堂を見学しているうちに雨が上がり、平泉レストハウスの昼食も最高だった。

3回の昼食の美味しさを記憶に残しながらバスは無事に東京に到着した。

八幡平市合併10周年記念

八幡平ふるさと紀行

[2泊3日]

みんなして、田舎さあ~行くべえ~!

農と輝の大地 八幡平市へ

旅行期間 平成27年10月9日(金)~11日(日)

八幡平市長ご挨拶

旅行代金 お一人様 **35,000円**

募集人員 120名様(最少催行人数30名)

申込 別紙旅行参加申込書にご記入のうえ郵送またはFAXで日本旅行東北盛岡支店にお申し込みください。

締切日 8月25日(火)

行程 2泊3日(全行程貸切バス利用)

1	10/9 (金)	八幡平市 集合、朝の早稲田川・(早稲田川)・(新盛岡 第1公園)・(途中休憩、朝食50分)
2	10/10 (土)	八幡平山賊まつり・(八幡平山賊まつり)・(八幡平山賊まつり)・(八幡平山賊まつり)
3	10/11 (日)	八幡平山賊まつり・(八幡平山賊まつり)・(八幡平山賊まつり)・(八幡平山賊まつり)

八幡平市 八幡平ふるさと会



旧松尾鉱山跡地



安代・不動の滝



八幡平市役所新庁舎見学

◇◇思い出の街「大更」◇◇

高橋 政樹

旧松尾村の寄木小学校近くで生まれ育った私にとって、隣町、西根の「大更」はたくさんの思い出がある街でした。好奇心旺盛な少年時代は、自転車で見も知らない遠くに出掛ける冒険が大好きでした。大更もその一つです。

集に将来の夢は「ラーメン屋さん」と書いたのも大更「かどや」の思い出のラーメンに出会ったからかもしれません。44歳で亡くなった明るく働き者だった母と最後に別れた所は「西根病院」。風邪で高熱を出した時、優しい看護師さんがいた「瓜田医院」。捻挫した時は大更駅近くの本堂整骨院。家族5人(父母・姉・私・妹)一家団らん楽しく食べたジンギスカンは「肉の横沢」で買っていました。我が家の電化製品は「高橋電気」。服は「まつもり呉服店」。高校時代は、盛岡まで汽車通学で大更駅にもお世話になりました。

最初に「ラーメン」にまつわる思い出。小学生当時は、好きなラーメンを食べられる食堂は近くになく、やはり隣町の大更や平館まで行かなくてはなりませんでした。曖昧な記憶をたどると今の太更「フーガの広場」近くに味処「佐和」というお店があります。そこに当時「かどや」という食堂があつて、その「学生ラーメン」(安い!)のおいしい味が忘れられませんでした。切ったソーセージ二切れの具だけでしたがとにかく上手かった。お店は小さくて列車の客車のようなカマボコ型をしている感じがします。あく、また当時のタイムスリップできたらもう一度あの懐かしい風景の中で食べてみたいなど。小学校の卒業文

最後に酒好きで宴会大好きな亡き父とは一度だけ大更の駅前通りのスナックで飲んだことも懐かしい思い出です。今、田舎に帰ったら「丸はつ」の「味噌ラーメン」を食べてみたいです。ともかく何かと思い出多い街「大更」でした。今の自分があるのも生れ故郷の地域の皆様に育てられてきたおかげだと思ふこの頃です。わがふるさとに感謝、感謝です。

八幡平からの眺望



「ふるさと大使かわら版」2015年
秋季号に掲載されました。

ふるさとの山に向かいて言うことなし。ふるさとの山はありがたきかな(石川啄木)

人が生きる時代は常に厳しくうつろうものであり、何時も変わらざる所にあるふるさとの山河や海辺の自然風土のしみじみとした有り難さは、成長して故郷を離れて暮らす人々の人生折々に味わう悲しみや苦しみの深さに比例します。

私は、国立公園八幡平の岩手県側にあつた硫黄産出量東洋一の松尾鉱山で生まれました。明治44年来奥羽山脈中の坑道から掘り出す硫黄は、戦後のエネルギー産業が石炭から石油へ移行する中で、石油コンビナート等の

脱硫装置から回収される硫黄に価格競争力を失い、昭和44年閉山となり、15000人の同胞は全国に離散しました。

八幡平の自然は春夏秋冬に彩られて、常に美しくあるのですが、気候は厳しいものです。海拔10000m雲上鉱山は、10月に初雪が降り、11月は根雪となり、2月に横殴りの吹雪と戦い、4月になって柔らかに芽吹くねこやなぎの頃、ようやく大地が姿を現します。毎朝、眼前の岩手山から陽が昇り、対面の八幡平茶臼岳に季節の夕焼けが映えるのでした。

岩手山は独立峰ですが、鷲の翼のように峰を南西に奥羽山脈へと抜けています。従って見る方向で容姿の違いが際立ちます。盛岡方面からの眺めはどつしりとした安定感、岩手町方面からは稜線が左右に流れる孤高の美しさ、松尾鉱山からの眺めはなだらかな稜線と険しい起伏の非対称のそんな存在感が圧倒的です。私にとつて、この姿が岩手山の表です。

八幡平岩手側 〇 岩手山を

主にして360度パノラマが望めるのですが、近年本土で希少なパウダースノースキ場の閉鎖、八幡平観光ホテルの閉鎖、旧松尾鉱山病院跡学習院寮の閉鎖、日本百名水の金沢清水トラウトガーデン等観光施設の閉鎖が続いています。46年前の松尾鉱山の閉山から始まった地域資源の停滞はとてども勿体ない気がします。

本年は国体が岩手県で開催されます。訪れる人には、内陸各地の温泉やリアス式三陸海岸の景観等の地域遺産に加えて、奥州平泉文化の世界遺産もあります。そして新鮮野菜、前沢牛や三陸あわび等、上質の食材と共に、酒が好きで少々理屈っぽいのですが、東北の風土が培った岩手県人そのものの優しさ、奥ゆかしさも味わって頂きたいものです。折角岩手を訪れた観光客に、また来たいと思つて貰うためには、自然資源の豊さに甘えるのではなく手を抜かないサービスマン必須です。掃除が行き届いているか、挨拶に感謝の気持ち、料理にもてなしの気持ち

を込めているか、常にお客様の満足に努めているか。全国や世界からお客様を迎えるために今何をなすべきか、シヤイを言い訳にできません。我が八幡平ふるさと会は、平成17年に地熱発電と松川温泉の松尾村、ホウレンソウ生産量県内一とサラダファ

ームの西根町、りんどう生産日本一と安比塗の安代町の三町村が合併して出来ました。毎年5月、東京都内で人規模の総会、懇親会を開催しています。田村啓造会長以下、40人を超える幹事会議は何時も賑やかに熱気と笑顔で溢れています。

平成27年度「八幡平ふるさと会」活動状況

<平成27年>

- 4月12日 八幡平ふるさと会役員会 (ちよだパークサイドプラザ)
- 5月31日 第9回八幡平ふるさと会の集い (ホテルラングウッド)
- 6月7日 第41回岩手県人の集い (ホテルラングウッド)
- 7月5日 八幡平ふるさと会役員会 (すみだ産業会館)
- 8月1日~2日 第38回せたがや区民まつり (世田谷・馬事公苑)
- 8月1日 八幡平ふるさと大使 懇親会 (目黒 やまきた)
- 8月15日 八幡平ふるさとゴルフの会 (南部富士CC)
- 10月9日~11日 八幡平市合併10周年記念八幡平ふるさと紀行バスツアー
- 10月14日 連合会第17回ゴルフ大会 (紫CCあやめコース)
- 11月3日 八幡平市合併10周年記念式典 (八幡平市体育館)
- 11月29日 八幡平ふるさと会役員会 (すみだ産業会館)

<平成28年>

- 1月23日 岩手県人連合会 新春の懇親会 (ホテルラングウッド)
- 2月11日 八幡平ふるさと会役員会 (すみだ産業会館)
- 3月13日 八幡平ふるさと会役員会 (ちよだパークサイドプラザ)

◆八幡平ふるさと会によせて◆



八幡平市長 田村 正彦

記念すべき第10回の「八幡平

ふるさと会総会・ふるさとの集い」が開催されますことに、心からお祝い申し上げます。今日を迎えられましたのも、ひとえに歴代の役員や会員の皆さまのご尽力の賜物でございます。多年にわたり、首都圏とふるさと八幡平市のきずなを結びつけていただいたことに、感謝申し上げます。

おかげさまを持ちまして、昨年は八幡平市合併10周年の節目を迎え、11月3日には市民憲章推進大会と併せまして記念式典を開催させていただきました。この席上におきまして、毎年のおふるさと会・ふるさと会の集いの席上などで集められました善意の寄付により、市制に多大な功労を尽くしていただきましたことに対し

して、善行表彰をお贈りしたところですが、この場をお借りしまして改めて皆さまには、御礼申し上げます。

昨年の市の動きとしまして大きなものは、やはり2月20日から30日にかけて、市を会場として行われました希望郷いわて国体冬季大会スキー競技会です。市出身者をはじめとして岩手県選手団の大活躍によりまして、市出身者・関係者による優勝2種目、入賞も多数で天皇杯(総合順位)8位という素晴らしい成績を残すことができました。また、本年10月1日から秋季国体が行われます。市内では相撲、ラグビーフットボール(少年男子)など正式種目が5種目、デモンストラーションスポーツとしてオリエンテーリングが実施されます。市民総参加で心のこもったおもてなしをして、冬季大会以上の成功を収めようと準備を

進めております。ふるさと会の皆さまにおかれましても、さまざまな面でご支援をいただきましたら幸いです。

八幡平市は四季を通じて楽しむことのできる美しい自然のみならず、ゴルフやスキーといったさまざまなアクティビティにも恵まれ、各界の著名人に愛される日本を代表するリゾートのひとつであると自負しております。ふるさと会会員の皆さまにおかれましては、八幡平市の素晴らしさをご友人などにPRしていただき、旅行に来ていただきたいと存じます。

最後に、ふるさと会が今後とも回を重ねて、ますますご発展されますことを祈念申し上げます。また、あいさつとさせていただきます。



善行表彰授章

バスツアーで懐かしいふるさとの魅力を再発見!

八幡平市役所地域振興係 中軽米真人

合併10周年を記念した事業の一環として10月9日から11日の3日間にわたり、東京からふるさとを訪問するバスツアー、八幡平ふるさと紀行を開催し、ふるさと会会員やその家族など52人が参加しました。

初日は、ホテルに到着した皆さまを歓迎するレセプションを開催。田村正彦市長は「ふるさとの良さを知る皆さんにリピーターになっていただき、八幡平市を盛り上げていただきたい」と歓迎の言葉を述べました。参加者を代表して、田村啓造会長は「こうして帰省すると、昔のことを思い出す。思う存分ふるさとを満喫して、お土産をたくさん買って、市に貢献していただきたい」とあいさつ。また、昨年の総会においてアトラクションを

披露した、さくらさんさ愛好会によるさんさ踊りが披露され、レセプションに華を添えました。

2日目は市内観光です。八幡平や松尾鉦山跡、不動の滝など市内の観光名所や八幡平山賊まつりを訪れました。参加者は、ふるさとの懐かしい味や風土を満喫した様子で、最終日は、世界遺産・平泉などを観光した後、笑顔で帰路につきました。



ふるさと八幡平市への思い

高橋 尚光

第10回「八幡平ふるさと会の集い」にあたり、ふるさとの誇りと自慢を述べさせていただきます。

私は八幡平市(旧松尾村)を昭和50年に上京して41年目になります。私は、学生(中学から大学)時代はスキー競技に打ち込み、国体などに出場したこと、又、八幡平頂上の蓬莖荘に合宿、田山では毎年スキー大会に出場し、選手生活を過ごした思い出が強く残っています。

社会人になり、東京生活が長くなり、「ふるさと八幡平市」も大きく変わって行くことが感じられました。小

さい頃「わらび取り」に行った安比、

竜ヶ森も今は安比スキー場、竜ヶ森スキー場はゴルフ場になるなど、リゾート高原となり大きく変わりました。新幹線も開通、東北自動車道も市の中心を通り、東京と近くなり、ふるさとへはちよくちよく帰ることができるようになりました。

最近帰ると、なぜか、市の象徴である岩手山をボーッと眺めることが多くなり、「ふるさと八幡平」の良さが湧き出てきます。時々、会社仲間に「田舎はどこ？」と聞かれますが、「岩手・八幡平」と反応、それで、今まで数十回、会社関係、友人など多くの方を誘い、車や新幹線を利用して案内したくらい良いふるさとであると自慢しています。

「安比スキー場」、「八幡平国立公園

園」、「温泉」など自然に恵まれ、観光面でも素晴らしいふるさとであること、又、震災でクローズアップされた地熱エネルギーが日本で初めての松川地熱発電所などがあり、3・11の時は停電で困ったようですが、地元の温泉でも地熱という資源を持った市として誇りに思っています。

一方で、現在の八幡平市にも全国的に問題になっている少子化と高齢化が進んでいると聞きますが、今後ますますの発展と今まで以上に住みやすく、私が自慢している「ふるさと八幡平市」に一層磨きをかけることを市役所の方へお願いし、頑張っていたきたいと思っております。

「がんばれ！八幡平市！」

《寄付金贈呈》



昨年のふるさと会の集いで皆さまにいただいた寄付金137,896円を贈呈致しました。

《善行表彰》



八幡平市合併10周年記念式典で市から受賞した表彰の「楯」です。

◆名簿管理委員会からのお知らせ◆

毎年、皆様に送付している会報及びふるさと会の集いの案内が多数戻ってきます。転居などで住所を変更した場合は、名簿管理委員会か事務局に連絡をお願い致します。

同封のハガキに必要事項を記入の上、必ず返送下さい。又、新しく案内送付希望の方がいましたら氏名、住所、中学卒業年度、学校名、電話番号等お知らせ下さい。

● <各地区名簿管理委員> ●

- ◆旧安代 栗山 征治
03-3674-4868
- ◆旧西根 萩原 レイ子
047-479-2465
- ◆旧松尾 高橋 勤治
043-424-0667

<編集後記>

前任者の佐藤氏から引き継ぎ7回目の会報作成になりました。今回は八幡平ふるさと会10周年を記念してページ数が倍に増えましたが如何でしたでしょうか！

ふるさとにまつわる原稿や写真などをお寄せください。お待ちしております。(市野)

参加自由のゴルフの会



参加者募集!

《八幡平ふるさとゴルフの会》

期日：8月15日(月)
場所：大更…南部富士CC

《岩手県人連合会ゴルフ大会》

期日：10月12日(水)
場所：千葉県…紫CCあやめコース

連絡先：八幡平ふるさとゴルフの会
責任者：小野沢 栄治
TEL・FAX：03-3870-7760
携帯電話：090-1540-5856